



須留が峰

令和6年度
No. 24

HPアドレス <http://yabuboard.ed.jp/yabu-jhs/>

To Be a Good School 令和7年3月14日 発行



3月11日、旅立ちの日に

本校の中庭に梅の花が咲きました。先日11日(火)の卒業式の際には、この中庭で在校生が花道をつくり、卒業する3年生を見送りましたが、この梅もそっと花を咲かせて見送っていたのかもしれ



<中庭の梅の花>

ません。本校の敷地にも、やっと春が巡ってきたようです。

卒業式の余韻も覚めやらぬ翌日の12日(水)には、公立高校の一般入試が行われ、3年生にとっては大きな山場となる2日間ではなかったかと思えます。来週19日(水)には合格発表があり、いよいよそれぞれの春に向かって歩み始めます。きっとその頃には、グラウンドの桜も、さあ、咲き始めようとつぼみをいっぱい膨らませていることでしょう。

卒業式当日の朝、起きてみると何やら雨の音がします。前日の天気予報では晴れマークがついていたせいもあり、驚きとともに再度予報を見てみると、何とか開式の9時までには止みそうな気配。少しほっとしながら、「まあ、この雨もよし」と独りで納得しながら学校に向かいました。

この朝の雨の趣をそのままに、落ち着いたある、しっとりとした卒業式となりました。

2月に、本校の積年の念願であった体育館のスピーカーとアンプがリニューアルしました。その新たな音響による初めての卒業式。当日まで、音響担当の先生を中心に何度も音質や音量のチェックが行われていました。おかげで、会場全体にしっとり感がさらに広がったように思います。



<開式前の会場>

今回、卒業証書の授与にあたり、卒業生が移動するコースをこれまでと大きく変えました。これまでは、自席から中央のレッドカーペットに向かい、そこで姿勢を整え、呼名に応じて返事をし、そこからステージ中央へ上がって証書を受け取り、その後、ステージの上手または下手に移動してひな壇を降り、自席に戻るというコースでした。今回は、まず自席からフロアの右側または左側に移動して待機し、そ

こからステージの上手または下手に上がり、ここで一旦、フロアを向いて姿勢を整えます。そして呼名に応じて返事をし、そこからステージ中央へ移動して証書を受け取り、その後、中央のひな壇を降りてレッドカーペットを通り自席に戻る、というコースに変えました。これにより、在校生や保護者の皆様に、卒業生の凛とした姿勢や表情を見ていただくことができるようになりました。



<卒業証書授与>

落ち着いた雰囲気を感じられたのも、もしかしてこのコース変更に伴う卒業生の立ち振る舞いとしっかりとした返事によるものではなかったかと改めて思い返しているところです。それほどまでに、卒業生の態度は堂々としたものでありました。

やはり、ABC + DE はすべてのベース



<送辞を述べる〇〇さん>

送辞を述べた2年生の〇〇さん。それに応じて答辞を述べた3年生の〇〇君。2人のゆったりとした聞き取りやすい口調に、会場を包み込む優しさで心の確かさを感じ取りました。



<答辞を述べる〇〇君>

加えて、見事であったのは、式の最後に披露された卒業生による学年合唱「旅立ちの日に」の歌唱力でした。



<学年合唱「旅立ちの日に」>

〇〇君の指揮と〇〇さんの伴奏により、歌詞の一つ一つに気持ちを乗せた丁寧な歌い方に思わず引き込まれました。歌の中に「限り無く青い空に 心ふるわせ」という歌詞がありますが、それを聞いた時、あの体育大会でみんなで見上げた真っ青な空がまぶたに浮かんできました。



3年生41名の皆さん、たくさんのステキな思い出をありがとう。「旅立ちの日に」の歌のとおり、「未来信じて、弾む若い力信じて」、広い世界に向かってさらに高く高く飛び立って行ってください。



卒業式アルバム



<思い出いっぱいの教室にて ラスト・ショット！>



<前日の夜、小黒板にメッセージを書いた田尻先生>



<みんなでお見送り — 名残は尽きません>



<けやき学級の黒板メッセージ>



卒業式の様子は、養父市CATVで15日から放送予定です。